

12年間の振り返り

『風は西から』

合併後12年 色々な人からの声を、取りまとめてみました。

観音寺市議会議員いたみ準二

(良かったこと)

大きな市になった
多くの予算が使えるようになった
施設が新しくなった
全体の調和がとれてきた
どんな町になるか楽しみ

(期待外れだったこと)

隅々までの整備がまだ
予算に偏りがあるように思う
全体の施設整備計画が見えない
過疎が進んでいる
将来の不安が増えた

(今後期待すること)

公平な施設整備を心掛けてほしい
人口問題に取り組んで欲しい
高齢者問題に取り組んで欲しい
子育てしやすい町にしてほしい
教育がもっと充実してほしい

裏面に12年間の公共事業費グラフ・人口グラフを示しています。
これを基本に考えなければなりません。
公共事業は市民全体に与えられるものです。
では、今後の課題:均等な公共工事とは?
市は、長期振興計画を柱に、施設整備を行っています。
計画推進の上で
市民が納得する公共工事配分が必要と思います。
状況により変化しますが、**基準は示されなければなりません。**

- 基準**
- ①人口割・・・?!
 - ②面積割・・・?!
 - ③将来計画・・・?!

整備方針を明確にしないと、人口減少に立ち向かうことは出来ません。
それを踏まえた整備計画が必要です。
旧市内の整備はひと段落します。

次の整備は観音寺東南部地区・大野原・豊浜です。
何が必要かを真剣に論議しなければなりません
当面の取り組むべき事業

皆様のご意見を参考にした今後の課題

①公平な予算配分・・・公共施設・学校建設

②災害時も安心な施設整備・・・支所・公民館の充実

③子育てしやすい住環境の整備

④老後が安心できる福利厚生施設等

本市の将来ビジョンの作成

①産業基盤整備

(例)三豊病院を中心とした医療福祉ゾーンの構築
三豊工業高校跡地の早期活用推進
※市議会として県に要望中ですが、今後も努力します。
(例)1次2次3次産業の起業を促す

②周辺市との交流促進

(例)三豊市・中央市・三好市との統合・合併の検討。
政府は人口30万人を単位に地方整備の方針のようです。
道州制論議が下火になっていますが、人口減少の現在
人口減少の今、必ず、合併論が再燃します。
不利にならない準備が不可欠です。

③教育環境の充実

(例)①②を構成する教育環境整備
本市で教育を受ければ将来が約束される教育を目指す

④国道の4車線化

スマートインターも計画されつつありますが、
朝夕の混雑を解消するには
県境からの4車線化を進めなくてはなりません。
産業・生活基盤を確保する為に交通体系の整備が不可欠。

多くの整備は東からです。
県西部からの整備を要望していきます。



活動目標

- ①産業育成
- ②地域連携
- ③教育環境充実
- ④交通環境整備
- ⑤子育て支援
- ⑥高齢者対策
- ⑦安心・安全な町づくり

(履歴)

1954年7月13日生まれ
県立観音寺第一高校卒
家業(米穀業)をへて
コンビニエンスストア経営
現在に至る

(議会歴)

観音寺市議会議員2期目
(議会での役職)

市議会総務委員長
三豊病院組合議会議長
市議会副議長
三観広域議会副議長

(所属党派・会派)

自民党・自民新政会
(特技・趣味)

柔道4段

(事務所)

観音寺市豊浜町和田浜1538-2

電話0875(52)6189

sazanami_kurabu@purara.jp